

思いや意図をもって音楽を構成する音楽科指導の工夫

—語感を生かしたふしづくりの活動を通して—

特別研修員 石川文俊（小学校教諭）

児童の実態

ふしづくり？
なにから
はじめれば
いいのかな



ふしをつくっても
どうやって書いたら
いいんだろう…

教師の願い

自分の思いや意図をふしで表してほしい
音楽の要素を取り入れたふしづくりが
できるようになってほしい

研究の概要

①語感やリズム、音の高さの関係に気付ける音楽経験を積み重ねる

- ・音符カードを使ったリズムづくりやリズム打ちをする。
- ・リズムにあてはまる言葉探しや語感に合わせたリズムづくりをする。
- ・言葉のイントネーションと音の高さを関連づけた簡単なふしづくりをする。

②音符の並びやリズムの組み合わせを語感に照らし合わせて考える

- ・歌詞にする言葉を考え、言葉に合ったリズムを決める。
- ・言葉のイントネーションに合った音の高さを考える。
- ・楽譜にしてピアノで演奏する。

③作ったふしに必要な音楽の要素を取り入れ、ふしを構成しなおす

- ・既習事項の「続く感じ」「終わる感じ」を使ってふしをつなげる。
- ・ふしの中に「反復」や「変化」を取り入れて構成しなおす。

ふしの
完成

成果

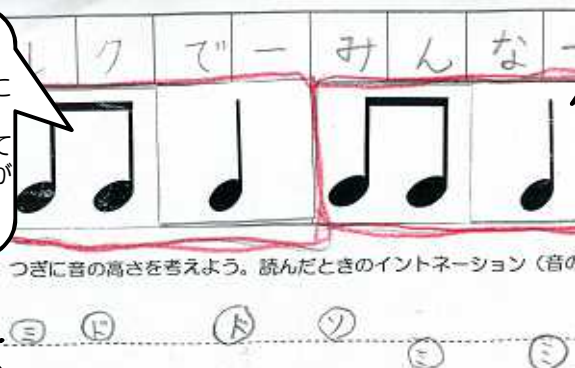
常時活動による
音楽経験が有効だった



音符の並びや
リズムの組み合わせを
自分で考えることができた

音楽の要素を取り入れて
ふしを構成しなおすこと
ができた

2小節におさまる
歌詞に整え、語感に
あったリズムを、
音符カードを使って
組み合わせることが
できた



リズムの繰り返しが
取り入れられて
いることに気付く
ことができた



イントネーション
に合わせた動きを
○の上下で表した。
これに音をあては
め音符で表すこと
ができた



リズムの繰り返し
に加え、あてはめ
た音を変化させる
ことができた

課題

- イントネーションと語感の関係について意識できるような常時活動のさらなる工夫
- 「変化」「反復」など〔共通事項〕と関連付けた日々の授業実践